

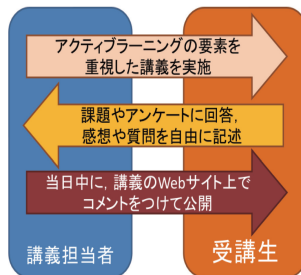
基礎教育系

研究概要

学習者の動機づけに着目し、Webサイトを活用した双方向型科学技術授業の時系列分析

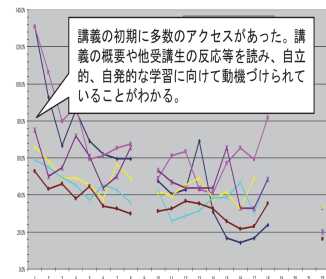
学生は一般に、自分に関心のない科目については、動機づけも教育効果も低いままにとどまる傾向が見られる。そこでレスポンスシートを用いて受講生の疑問や学習上の困難点、感想等を集集し、コメントを付して当日中に授業のWebサイト上で公開することによって自発的、自律的学習に向けて動機づけようというものである。すべての講義で「小カード」と呼ばれるレスポンスシートを用いて受講生の疑問や学習上の困難点、感想等を集集し、コメントを付して当日中に授業のWebサイト上で公開する。その上で、Webサイトへのアクセス状況のデータを定量的に解析することによって講義を改善し、受講生を自発的、自律的学習に向けて動機づけようとする。

「小カード」と講義のWebサイトを利用した双方向型講義のイメージ



「小カード」と講義のWebサイトを利用した双方向型授業

これまでの研究から得られたデータの一例 (講義の進行と講義のWebサイトへのアクセス数の変化)



講義の進行(横軸)とWebサイトへのアクセス(縦軸:相対比)

今後の展開やメッセージ

本研究は、これまで見逃されがちだった学習過程の動機づけに着目し、しかもそれを定量的に分析して教育の改善に役立てようというものです。また近年その重要性が目立っている初年次教育、キャリア教育、教育評価およびIRと深く関係しています。関心をお持ちの方はお気軽にお問い合わせください。

研究者情報



西村 秀雄 教授

学部：基礎教育部 学科：修学基礎教育課程
所属研究所：科学技術応用倫理研究所
敬和学園大学他を経て、平成14年本学助教教授就任。

Keyword

教育学 / 科学教育 / 科学社会学 / 科学技術史